

「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」及び 「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」について

- 放課後等デイサービスガイドライン（以下「ガイドライン」）は、放課後等デイサービス事業所における自己評価に活用されることを想定して作成されたものですが、各事業所で簡易に自己評価を行うことができるよう、ガイドラインの内容を踏まえた「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を作成しました。ただし、この自己評価表を活用してより適切に自己評価を行うために、事業所関係者に対しては、ガイドライン本文を熟読することをお薦めします。
- さらに、放課後等デイサービスを利用する子どもの保護者等による、ユーザー評価に活用していただくために、より一層簡素な「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」も併せて作成しました。
- 上記の2つの評価表はあくまで「雛型」であり、事業所等でこれに適宜加除修正を行って活用していただくことも可能ですし、どのような形で活用するかも自由ですが、2つの評価表の基本的な活用方法としては、以下の手順を想定しています。

ステップ1 保護者等による評価

○事業者から保護者等に対して、「保護者等向け評価表」を配布してアンケート調査を行う。保護者等からの回答は集計し、特記事項欄の記述を含めてとりまとめる。

ステップ2 職員による自己評価

○事業所の職員が「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を用いて自己評価を行う。その際、「はい」「いいえ」などにチェックするだけでなく、各項目について「課題は何か」「工夫している点は何か」について記入する。

ステップ3 事業所全体による自己評価

○職員から回収した評価表を集計の上、職員全員で討議し、項目ごとに課題や工夫している点について、認識をすり合わせる。
○職員間で認識が共有された課題については、改善目標を立てる。討議の結果は書面に記録し、職員間で共有する。
○討議に際しては、保護者等に対するアンケート調査結果も十分に踏まえ、支援の提供者の認識と保護者等の認識のずれを客観的に分析する。

ステップ4 自己評価結果の公表

○自己評価結果の公表の仕方については、基本的には「改善目標」や「工夫している点」の主なものについて、できるだけ詳細に発信する（「はい」「いいえ」の数の公表を想定しているものではない）。
○保護者等のアンケート調査結果は、保護者等にフィードバックする（対外的に公表することまでは前提としない）。

ステップ5 支援の改善

○立てられた改善目標に沿って、支援を改善していく。

- 業務改善に真摯に取り組む事業所ほど、公表される自己評価結果には、改善目標に関する記述が多くなされるものと想定しています。
- また、（地域自立支援）協議会や事業者団体において、これら評価表を使った自己評価結果の事例発表を行う機会を設けるなどにより、自己評価の取組が広がっていくことを期待しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5名	1名		利用人数により事業所内療育が難しい場合は、室内と屋外に分かれての療育実施しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	5名	1名		利用人数に対して半数以上のスタッフ体制を整えている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1名	3名	2名	バリアフリーの必要がない。 事業所内はバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4名	2名		コミュニケーションを大切に日々起こった状況を共有しながら、決定した対策を周知。ミーティングの中でスタッフの目標、計画、実施後の振り返り重ねながら支援に繋がるよう努めていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6名			アンケートに記載されている保護者の方の意向を把握に努めて参ります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6名			2019年4月より公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4名	2名		現在は保護者様からの意見を尊重し運営に反映中していません。今後必要に応じて実施を検討します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3名	3名		研修の機会を増やし質の向上に努めます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6名			保護者様から聞き取りを行い、利用者の行動を客観的に記録し、全スタッフで話し合い計画書を作成しています。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5名	1名		何か問題が起こった時に素早く迅速に対応できるように、全スタッフが利用者の状況を把握できるようにしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4名	2名		月間予定を全スタッフで立案し活動内容の詳細を分担し。その後、再度全スタッフで確認をして決定しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5名	1名		基本のベース（プログラミングや創作活動、運動療育など）ありますが、季節や利用者の状況に応じて活動内容を変更しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4名	2名		カリキュラムに沿って活動を行っています。 共同生活に必要なコミュニケーション能力、集団生活での協調性、楽しさを踏まえながら利用者に合わせて課題を設定しています。課題目標を数字に表すことも検討中。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6名			個別活動では、宿題、プログラミング、創作活動・選択活動など利用者の状況に応じています。 集団療育では、運動療育を通して他の児童達と関わりが持たせています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6名			朝礼時、利用人数、送迎担当、支援内容を確認し、更に児童の課題点など情報を共有し支援には関わっています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5名	1名		送迎終了後、利用者の状況報告。 問題点や課題点は振り返り話し合いをし、次回の支援改善に繋げています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5名	1名		利用者の様子や支援中で気付いたことを記録し保護者へ報告しています。 その後、ミーティング時全スタッフで共有し、次回利用時の支援に繋がっています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6名			定期的にモニタリングを実施しています。学校での様子、自宅での生活状況確認し支援内容の見直しをしています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5名	1名			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6名				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6名			学校から伝達された内容は、全スタッフで共有。また保護者より月の利用日の確認時、下校時間を記入して頂いております。下校時間が不明な場合、時間割を確認しています。トラブルが発生した場合は、迅速に対応し、全スタッフに報告。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4名	1名			現在、医療的ケアが必要な利用者はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3名	3名			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3名	3名			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4名	2名			コロナ禍の為、控えさせていただいておりましたが次年度は参加していきたいと思っております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1名	5名			コロナ禍の為、控えさせていただいております。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2名	3名	1名		再開が実施されたら（現在コロナの影響により実施がない）参加の機会を作っていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6名				送迎時に利用者の状況や課題内容を聞いた内容や、連絡帳に記載されている要望や利用者の状況など全スタッフで共有しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3名	3名			ペアレント・トレーニング支援までは至っていませんが、面談や送迎時のフィードバックの際、療育した内容や対応のアドバイスを少しずつ伝えるように心がけています。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6名	1名			契約時分かりやすく理解しやすい説明を心がけています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5名	1名			連絡帳、送迎時など保護者とその都度相談、悩みを聞き支援に繋がっています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2名	3名	1名		コロナ禍の為、今年度は開催を見送っている。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5名	1名		状況を応じて、電話相談、自宅訪問また事業所内での面談を迅速にかつ適切に対応するよう努めています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3名	3名		毎月カリキュラムや連絡事項を郵送しています。 ここにテキストを
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6名			個人情報が記載された書類は鍵付き書庫にて管理しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6名			常に連絡帳や送迎時にてやり取りを欠かさず行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5名	1名	コロナ禍により控えさせていただいています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6名			施設内で閲覧できるようにしています。 周知・訓練について十分でない部分もある為、改善に努めます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3名	3名		毎年避難訓練を実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5名	1名		虐待マニュアルを閲覧できるようにしており勉強会を実施しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4名	2名		現在対象の児童はおりませんが、身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合である旨、全スタッフで共有認識。 保護者には、契約書説明時伝えています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4名	2名		契約時に確認しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6名			ミーティングを通してスタッフで共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	利用により事業所内療育が難しい場合は、室内と 廊下に分散しての療育実施を意見します。
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13名	6名		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17名	1名		・無回答1名
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9名	8名	1名	・無回答1名
適切な 支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	18名	1名		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17名	1名	1名	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6名	9名	3名	・無回答1名
保護者への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18名	1名		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18名	1名		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15名	4名		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3名	9名	7名	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13名	5名		・無回答1名
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18名	1名		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17名	1名		・無回答1名
	⑭	個人情報に十分注意しているか	17名	1名		・無回答1名
非常時等 の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12名	6名		・無回答1名
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6名	12名		・無回答1名

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	15名	3名	1名	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17名	3名		・1名 「はい」と「どちらともいえない」両方に○あり

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

6名